

令和4年度大野市スポーツ推進審議会（第1回会議録）

●日時 令和4年10月13日（木）午後7時～8時20分

●会場 エキサイト広場総合体育施設2F会議室

●内容

1 委嘱状交付

2 委員紹介

3 市長あいさつ

- ・令和4年度第1回のスポーツ推進審議会にお集まりいただき、また委員の委嘱を快くお引き受けいただき、お礼を申し上げます。
- ・大野市のスポーツ行政・推進の全般に渡りご意見を頂いて、市民のスポーツ推進・健康増進を図っていくという会議であるので、よろしくお願いを申し上げます。
- ・当審議会は、市の条例に基づいて設置され、毎年、会議を開催しているが、とりわけ去年から引き続きの委員の皆さまにおかれては、昨年度は大野市スポーツ推進計画を十数年ぶりに改訂するという大変な年度になったが、それに当たってご尽力いただいたことにお礼を申し上げます。
- ・山田委員におかれては、福井大学の連携協定の中で、スポーツ推進計画の改訂にご尽力いただいたこととお礼申し上げますとともに、引き続きのご指導をお願い申し上げます。
- ・これまでのスポーツ推進計画との大きな違いとして、競技力の向上やスポーツ人口の裾野の拡大などについてはこれまでも取り組んできたが、高齢者人口の割合が約37%という状況の中で、健康の増進という面において、健康づくりとの親和性が高いというようなことも社会情勢として発生してきており、そのような中で、昨年度、健幸おおの21という健康づくりの計画を策定したが、その策定委員と合同会議を開催して意見交換をするなど、健康づくりの計画と歩調を合わせた計画となっている。
- ・大野市の直近の大きな行事としては、平成30年に福井しあわせ元気国体と元気大会が開催され、またインターハイも大野市内で開催されるなど、規模の大きな大会が開催されるようになってきた。スポーツをする人も、見る人も、支える人も、皆でスポーツに関わるといった方向性の中で、スポーツ推進計画を新たに策

定していただいたが、今時感というか、これからに向けて楽しみな計画になっているので、これからも一緒に、お力を貸していただいて、大野市のみんなが元気に楽しくスポーツをできるようにご助力をお願い申し上げます。

4 大野市スポーツ推進審議会について

(事務局) 資料に基づき説明【資料1】

5 正・副会長の選出

会 長：山田孝禎 委員

副会長：長谷部祐円 委員

(山田会長あいさつ) 昨年度からの引き続きで会長を拝命しております。私自身、数年前から大野市に大変お世話になる機会が多く、今月は、大野高校へ寄せていただく機会などもあり、大野市に来るのはこれで3回目となります。また私どもの学生もいろんな研究をさせていただく機会を頂いており、非常にご縁を感じる大野市ですので、しっかりと会長の任を務めさせていただきたい。

6 議事

(1) 大野市のスポーツ施策について

事務局から資料に基づき説明【資料2】

(7月補正予算についても補足説明)

- ・真名川憩いの島野球場グラウンド整備
- ・エキサイト広場総合体育施設アリーナ・トイレ照明等のLED化工事

<意見・質問等>

委員：1点目として、令和4年度における課題ということで、運動部活動の地域での受け入れについて、施設などのハード面と指導者確保などのソフト面の整備状況を分かる範囲で教えてほしい。

2点目として、市総体が市民スポーツ大会へと大きく内容が変わったが、今後、1年間を終えてから検証が行われると思うが、現時点での反省点等があれば教えてほしい。

事務局：1点目の運動部活動の地域移行については、指導者の受け皿づくりにつなげるため、資格取得の補助を今年度から始めている。

委員：資格取得の補助事業は、資料2の競技力向上対策事業に記載されているのか。

事務局：大事な事業であるのに、記載漏れをしており大変申し訳ない。大野市スポーツ指導者資格取得補助という事業名で補助を行っている。

委員：2点目については、昨日、スポーツ協会の合同会議が開催され、各競技団体にも参加いただき、市民スポーツ大会についての意見を求めたが、意見は出てこなかった。各競技団体にアンケートもお願いしていたが、市民スポーツ大会を開催することは不可との回答が2競技団体、新たに2競技団体が開催したいという結果である。

委員：開催不可とした2競技団体の理由は何か。

委員：原則として、4地区の参加がなければ開催を行わないという決めごとがあり、4地区を集めるのが難しいということで、取り下げられた。人口減少も進む中で、各競技団体も苦慮されている。

(2) 大野市のスポーツ施設（スポーツ推進課所管）について

事務局から資料に基づき説明【資料3】

<意見・質問等なし>

(3) 大野市スポーツ推進計画の進捗状況について

事務局から資料に基づき説明【資料4】

(大野市スポーツ推進計画を委員に配布)

<意見・質問等>

委員：成果指標として目標数値を掲げているが、例えば市民1人当たりの体育施設利用回数という指標では、利用する人は何回も利用していて、ほとんど利用していない人が大多数であり、数値については、そういう見方をしていけないと、目指すスポーツ推進計画にはつながらない。

委員：スポーツイベントの開催や誘致という指標について、従来から実施している事業をそのまま継続していけば、10年後の目標は達成するという単純計算になると思うが、若者が興味を持って参加できるような新しいイベント、或いは年配の方が参加できるような、何か新しいものをイメージしていたので、今の説明では、従来の取り組みをしっかりと強化していくというイメージだと思うが、その辺りはどのように考えているのか。

事務局：継続的に実施しているイベントが中心にはなるが、先ほど施設の改修に

についても触れたが、今年度に改修する大屋根広場をハードコートへ転換すれば、例えばバスケットボール3×3をすることが可能になり、今後の可能性として、イベント誘致や大会を開催できると考えている。単に実績を継続していくということだけではなくて、新しい取り組みも進めていく。

委員：何のイベントだったのか、いつ頃だったのか覚えていないが、ふれあい公園で太鼓が大きく鳴り響く賑やかなイベントがあったが、これは指標にカウントしているのか。

事務局：恐らく福井ユナイテッド関係のイベントではなかったかと思う。市が後援を行っていたのかもしれないが、指標の対象としているのは、市が主催や共催の事業である。

委員：資料2の運動部活動の地域での受け入れに向けた条件整備について、部活動と違ってクラブチームは休日にも練習があるなど、かなりハードルが高い。特に中学校からいきなりスポーツを始めようとする生徒にとっては、受け皿のレベルが高いとなかなか入りにくいので、資料2に記載があるように、競技力向上対策事業の中で、青少年と指導者とのスポーツ交流会の支援をもっとたくさん行って、経験のないスポーツであっても、初心者でも入りやすい受け皿を作ってほしい。

委員：大野市だけではなくて、いろんな自治体が抱える課題である。大野市スポーツ推進計画では、まず裾野を広げるところを意識した計画になっている。幼少期からのスポーツの関わりを担保してあげて、長期的な視点でもって捉えていかないといけない。そういう意味では、部活動の地域移行はとても大事だと受け止めている。中学校になって初めてスポーツに関わるという時に、いきなりハードルが上がってしまって、逆にスポーツとの関わりが途絶えてしまうことは避けなければならない。そこを上手くつなげてあげるためには、難しいことではあるが、いろんな需要に対して受け皿を作ってあげることが必要。その辺を担保してあげないと、成果指標の本当の意味での達成には行き着かない。

事務局：本市には、みんスポクラブという総合型地域スポーツクラブもある。全ての競技を網羅している訳ではないが、小学生や中学生が取り組めるメニューなどもあり、競技志向ではなく、少し身体を動かすことを目的と

する方の受け皿にもなり得る。みんスポクラブも一つの選択肢になってくるのではないかと考えるとともに、今後、市としてもみんスポクラブとの連携は必要であると考えてる。

委員：やはり、原則、みんスポクラブで大きく受けていくことを基本としていくのか。

事務局：現在、本市としては国の補助事業という形で、市教育委員会の教育総務課において、野球、サッカー、バスケットボールの3つの競技をモデル事業として、早ければ来年辺りから徐々に移行していくことを目指して取り組んでいる。競技志向の生徒ばかりではなくて、少し身体を動かしたいというような生徒のためにも、こうしたみんスポクラブでいろんな競技を兼ねて利用することも良いと考える。

委員：大野市スポーツ推進計画にも部活動の地域移行について書かれているが、スポーツ少年団で教えている指導者をリストアップして、部活動の受け入れとするような形になると、逆に小学校への指導者不足が懸念されるので、そういった部分をクリアーして進めてほしい。

委員：みんスポクラブでも指導者不足は問題となっている。

委員：指導者不足ということが、これからもっともっと表だってくる状況になると言われている。対応が大変だと思うが、いろいろと検討していかなければならない。

(4) その他

事務局から事務連絡

- ・ 次回の会議

開催時期 年度末に開催予定

内容 今年度の事業実績、スポーツ推進計画の進捗状況の結果、令和5年度事業等の説明

- ・ 継続委員の口座変更について
- ・ 推薦団体の役員異動による委員の交代について

7 閉会あいさつ

(長谷部副会長) 権威ある大野市スポーツ推進審議会の副会長を拝命することになった。会長を補佐し、皆さまの意見を吸い上げ、大野市のスポーツ行政にできるだけ貢献したい。本日、委員の皆さまから貴重な

ご意見をたくさん頂いたが、次回においても積極的にご発言いただき、大野市のスポーツ行政がますます充実できるようお願いを申し上げます。